



● 今月の主な内容

- 施政方針……………2～3ページ
- 新食肉地方卸売市場・と畜場操業開始、敬老・福祉パスの切替…4～5ページ
- 春のイベント……………6～7ページ
- ご意見有用、ズームアップ、アピールナウ……………8～9ページ

[特集] 市制施行100周年記念事業イベント……………10～11ページ



手作りのたこで世代間の交流を深めた
 柚木ふれあいの森公園のたこ揚げ大会

4 月号

2002.April (No.617)

広報させぼ

4月1日発行



《市章》明治44年（一九一一年）10月制定。
 サセボの文字を組み合わせたものです。
 市名はサセボと読みます。

〒8557の8585（市役所専用）
 長崎県佐世保市八幡町1の10
 佐世保市役所企画調整部秘書課広報係
 ☎0956241111 FAX 2184

みんなの遊び探検隊

その②柚木地区



地元の幅広い年齢層が持ち寄った手作りのたこが大空を舞いました。手作りだかあって、たこの形や、揚

この日はよい風が吹き、たこ揚げには絶好のコンディション。
 快晴に恵まれた2月24日、柚木ふれあいの森公園では、三世代交流にと、たこ揚げ大会が開かれました。



ベントでした。

最後には空へ。眼下に広がる山々に色とりどりのたこが印象的なイ
 「バランスが悪い」とか「糸が弱いんじゃない」などと親子で話し合ったり手直しをしたりして、

問題です。右の人が釣っているのは何でしょう。正解はタコ。といつても海ではなくて空に泳ぐ方です。



げ方もさまざま。市制百年記念事業のシンボルマークをかたどったものも（表紙の写真）。
 なかには、地をはついている時間のほうが長いものもありました。



歴史散歩

441



神功皇后の井戸
 （俵ヶ浦町）

俵ヶ浦半島の最西端北部は七郎鼻と呼ばれています。北風を除けて停泊するのに格好の入江で、しかも浜辺近くには湧水の井戸があった。遠い昔から舟の飲料水として重宝されてきました。



七郎鼻の名称は、この地に伝わる神功皇后伝説の一つです。神功皇后は三世紀末ごろの人とされ、朝鮮半島の三韓に遠征した女帝として、肥前一円に広く伝説を残しています。
 七郎とは神功皇后と共に従軍した十城別王に従った武将・別七郎氏のことです。高名な武将で、平戸の亀岡神社に祀られています。佐世保市内では針尾東町の入江にも七郎神社があります。
 俵ヶ浦の安東寺に住んで

七郎鼻は白浜海水浴場の北になりますが、けわしい山に隔てられて陸路では行けません。このため、明治時代（一八六八～一九二二）に地元の人々が、山口さん宅の谷向かいにある山の中腹に遷座しました。
 七郎権現は武神として、また、海上安全の守護神として肥前一円でも広く信仰さ

れてきました。太平洋戦争中まで、俵ヶ浦一帯から出征する人は、必ず七郎権現に参拝して武運長久を念じていました。
 佐世保港の入口にあたる向後崎も、一説では神功皇后にちなむ皇后崎だと言われています。岬の沖合は、古代の遣唐使の時代から重要な航路で、江戸時代は平戸と天領長崎を結んで数多くの船が行き交いました。
 針尾島には、神功皇后伝説がいくつも残っています。皇后の重臣・武内宿禰は針尾北町の笠山神社に祀られ、有福町には七郎坊の古い地名があります。
 伝説の世界とはいえ、今に残る神社や地名は古代からの舟による交流を物語っています。
 （筒井隆義）

